

高分子学会ユニチカ国際会議開催助成報告書

2023年11月22日

公益社団法人高分子学会
会長 殿

国際会議等の名称 (日・英)	2023 九州・西部-釜山・慶南 高分子(第 20 回)繊維(第 18 回) ジョイントシンポジウム 2023 Kyushu-Seibu / Pusan-Gyeongnam (KSPG2023) Joint Symposium on High Polymers (20th) and Fibers (18th)	
主催団体の名称 (日・英)	2023 日韓シンポ実行委員会 2023 Japan-Koera Symposium Organizing Committee	
開催期間	2023年10月 5日(木) ~ 2023年10月7日(土)	
会 場	九州大学 伊都キャンパス I2CNER ホール	
主 題 (主題がある場合は記入)		
責 任 者	(フリガナ) 氏 名	ヒガキ ユウジ 檜垣 勇次
	所属機関・職名	大分大学 理工学部共創理工学科 准教授
参加者数	計 192名((国内) 89名、(海外) 107名) (申請時の予定参加者数(国内) 90名、(海外) 50名)	
参加国数	2ヶ国(日本を含む)	
助成金額	152,350円(印刷代151,800円+振込手数料550円)	

1. 実施事業の目的

日韓シンポジウム（高分子九州/釜山-慶南ジョイントシンポジウム）は、九州地区と韓国釜山-慶南地区の高分子科学を専門とする研究者／技術者／学生の交流を図ることを目的としている。本シンポジウムの特色は、日韓の優れた若手研究者の講演と、時間を十分に確保した学生主体のポスター発表にあり、若手研究者にとって将来の国際舞台での活躍を意識する重要な経験となる。学生にとっては、その多くが初めての海外渡航、初めての国際学会であり、国際交流により視野を拡げ、研究・学習意欲を高める機会となる。懇親会では、若手主体の小規模懇親会であるゆえ、日韓の若手研究者・学生の交流が活発に行われ、国際交流の稀有な経験となる。

2. 実施事業の内容と成果（主たる招待講演者、若手研究者や学生の交流、女性研究者キャリアアップのための取り組みの成果、高分子学会会員への寄与など）

シンポジウムでは日韓の高分子関係の研究者による優れた講演と、時間を十分に確保した学生主体のポスター発表が行われた。活発な議論が行われ若手研究者にとって将来の国際舞台での活躍を意識する重要な経験となった。学生にとっては、その多くが初めての海外渡航、初めての国際学会であり、国際交流により視野を拡げ、研究・学習意欲を高める機会となった。懇親会では、日韓の若手研究者・学生の交流が活発に行われ、国際交流の稀有な経験となった。